

会社名: 株式会社 NTT データ
情報所有者: 社会基盤ソリューション事業本部
ソーシャルイノベーション事業部



WinActor シナリオ 開発標準

第 2.0 版

2019 年 06 月 10 日
株式会社 NTT データ

抜粋版

ご注意

- ・ 本書の内容の一部または全部を、営業目的で無断利用・無断配付することは禁止されています。
- ・ 本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容は、万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたら、発行元までご連絡ください。
- ・ 本システムを利用したことにより発生したユーザの損害およびユーザが第三者に与えた損害については、上記にかかわらず責任を負いません。

複製厳禁・無断転載禁止

0.	はじめに	4
0.1	本資料の目的	4
0.2	ドキュメント構成	4
0.3	フェーズとタスクの構成要素	5
1.	シナリオ開発におけるフェーズ定義	6
1.1	フェーズ定義	6

0. はじめに

0.1 本資料の目的

本書は、WinActor 向けの開発標準を示すものである。

WinActor シナリオ開発(以下「シナリオ開発」という)とは、WinActor を用いた端末操作の自動化に係る開発を示す。シナリオ開発ではスピード感を持った開発を求められる傾向にある。そこで、開発を実施するにあたり、全体の流れ及び各フェーズでのインプット、アウトプットとなる各種様式を定義した。これにより短期での導入を求められた場合には抜粋して開発することで要件を満たすことが可能である。

各プロジェクトのシナリオ開発における統一的な考え方を与え、品質向上に寄与することを目的としている。

また、本書の想定する読者として、シナリオ開発に従事する方とする。

上記のことから、契約や受注発注に関する成果物は本書では解説を行わないものとするが、本書の作業前に契約が行われており、対応内容(作成する成果物や保守内容)が確定していることを前提とする。

0.2 ドキュメント構成

本書におけるドキュメント構成を表 0.2-1 ドキュメント構成に示す。

表 0.2-1 ドキュメント構成

資料	説明
WinActor 導入手順	本資料
様式	導入手順で定義されたアウトプットを作成するための様式およびサンプル。「様式」フォルダに格納されている。
ガイドライン	導入手順で定義されたタスクをおこなう際のノウハウなどを記述したガイドライン。「ガイドライン」フォルダに格納されている。

0.3 フェーズとタスクの構成要素

シナリオ開発では図 0.3-1 フェーズとタスクの構成要素のように体系立てている。

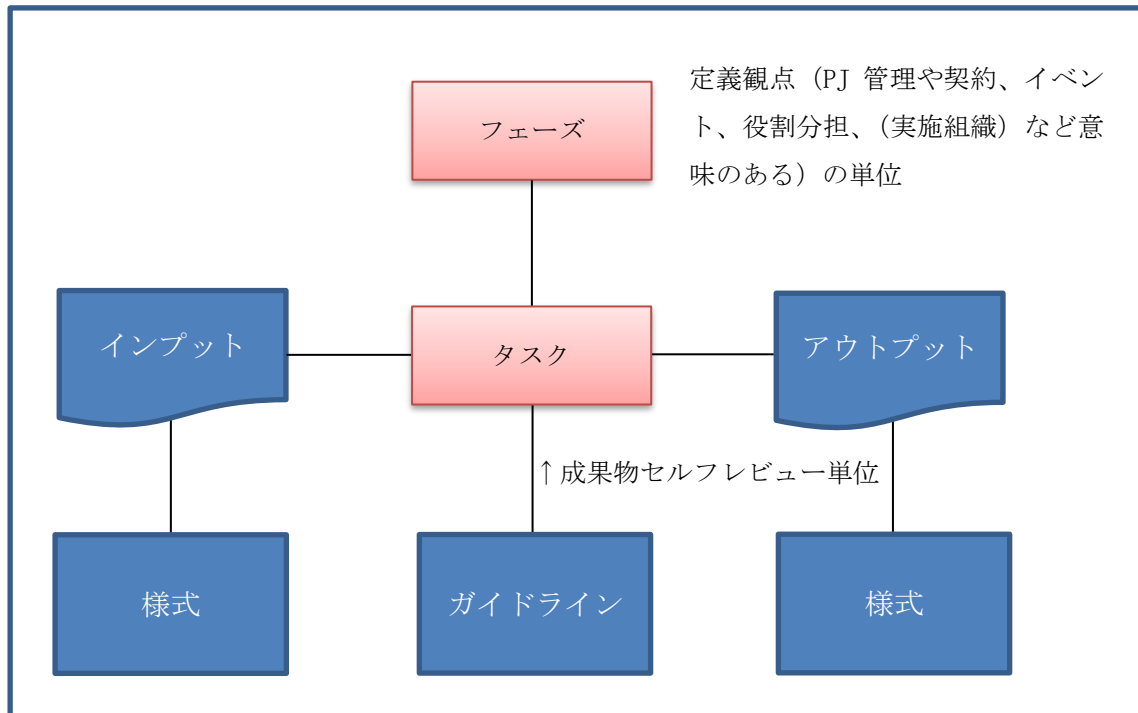


図 0.3-1 フェーズとタスクの構成要素

1. シナリオ開発におけるフェーズ定義

1.1 フェーズ定義

シナリオ開発におけるフェーズ定義を表 1.1-1 フェーズ定義に示す。

表 1.1-1 フェーズ定義

No	フェーズ	内容	開始基準	終了基準
1	分析	お客様の業務の課題やニーズを分析し、WinActor 導入による効果を明確化する。	お客様からの提案を受領する。	WinActor 導入による効果と適用する作業が評価され、お客様による WinActor 導入可否が判断されている。
2	計画	シナリオ開発に係る開発計画（優先度付スコープ、スケジュール、体制、品質計画など）を作成する。	お客様にて、WinActor の導入が承認されている。	お客様により開発計画が承認されている。
3	開発	開発計画に基づき、シナリオ開発として設計、実装、テストを実施する。また、完成した機能について、お客様への受入れをおこなう。	お客様により開発計画が承認されている。	計画したスコープの開発が完了し、お客様への納品が実施されている。
4	保守	納品した自動化機能の保守（バグ修正、機能追加等）をおこなう。	開発が完了しお客様への納品が完了している。 お客様との間に保守契約が締結されている。	お客様との保守契約が完了する。